

カチオン水系1液エポキシ万能シーラー

F ☆ ☆ ☆ ☆

# ダイヤ ワイドシーラー

## ダイヤ ワイドシーラー ホワイト

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー

## ダイヤワイドシーラーが塗装工事を改革します。

地球環境の維持と改善が叫ばれている現在、都市部や住宅密集地域での  
新築・改修工事にも、大気汚染・健康障害・引火など周辺環境への  
配慮と安全管理が要求されています。

ダイヤワイドシーラーは使いやすい水系一液のエポキシシーラーで、  
火気・溶剤臭の心配がなく、浸透性にすぐれていますので、

あらゆる下地や旧塗膜に適応、  
新築はもちろん、改修工事の完全水系仕様を、  
溶剤系同等の性能で可能にします。

### 特長

## 今、水系シーラーが変わる！

#### 水系一液

取扱いが簡単な水系一液タイプですので、火気・溶剤臭の心配がなく、  
施工・管理が容易な上、安定した性能が得られます。  
更にヤニ汚れや、シミに優れた効果を発揮します。

#### 高浸透 固着性

浸透性にすぐれ、脆弱な下地に浸透して表面を固化するだけでなく、  
硬くて緻密な下地にも良好な浸透性を発揮します。

#### 優れた 下地適性

弾性系を含めて各種旧塗膜との密着性にすぐれていますので、  
改修工事にも最適です。

#### 幅広い 仕上適性

汎用の複層塗材のみならず、弾性塗材の下塗材としても使用できます。

# ダイヤ ワイドシーラー/ワイドシーラーホワイト



## 新築から改修までワイドに対応。

新築下地：コンクリート、PC板、GRC板、ケイカル板、押出し成型板など  
改修旧塗膜：弾性系仕上材、吹付けタイル、スタッコ、リシン、アクリルエナメル、  
ウレタンエナメル、エマルジョン塗料、塩化ビニルエナメルなど  
適合仕上材：複層弾性、単層弾性、各種吹付タイル、各種水系上塗材など

### 標準施工工程

#### ● 新築・改装一般施工

| 工 程 |       | 材 料 名                                                                                                                                            | 調合割合                            | 所 要 量                    | 塗回数 | 間隔時間 |           | 施工用具              |
|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|--------------------------|-----|------|-----------|-------------------|
|     |       |                                                                                                                                                  |                                 |                          |     | 工程内  | 工程間       |                   |
| 1   | 下地調整  | 新 築 下 地：素地は放置して充分に乾燥させてください。汚れや付着物はブラシ、研磨紙、布等を用いて除去し、必要に応じ水洗いをしてください。<br>改修旧下地：脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去してください。コンクリートの欠けやひび割れ、鉄筋発錆による損傷はきちんと補修してください。 |                                 |                          |     |      |           |                   |
| 2   | 下 塗 り | ダイヤワイドシーラー<br>無希釈                                                                                                                                | 15kg                            | 0.1～0.2kg／㎡<br>75～150㎡／缶 | 1   | —    | 2時間<br>以上 | 刷毛、エアレス<br>中毛ローラー |
| 2   | 下 塗 り | ダイヤワイドシーラーホワイト<br>清水                                                                                                                             | 15kg<br>1.5～4.5 <sup>リットル</sup> | 0.1～0.2kg／㎡<br>75～150㎡／缶 | 1   | —    | 2時間<br>以上 | 刷毛、エアレス<br>中毛ローラー |

※所要量は1回塗りの場合の標準値であり、下地の種類や状態により増減します。

### 包装単位

ダイヤワイドシーラー ..... 15kg缶  
ダイヤワイドシーラーホワイト ..... 15kg缶

### 施工・管理上の注意点

- 【塗装面の調整（新設）】  
①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、リタス等を完全に除去して下さい。  
②セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。  
③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。  
④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合  
1)窓板、木コシ、壁損箇所、不整などは、セメントフィラー、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。  
2)表面が緻密でレイタス層がある場合は、レイタスを除去し、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
- 【塗装面の調整（改修）】  
①屋上防水、目地排水管などの水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。  
②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- 【塗装面の調整（改修）】  
①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。  
②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。  
③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧水洗浄で除去して下さい。
- 【材料の保管・管理】  
①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。  
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 【施工】  
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。  
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の性能が発現できませんので注意して下さい。  
③材料は付着乾燥しやすと乾れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。  
④乾燥後は、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。  
⑤乾燥時間は、温度、湿度、おび、風等により差異を生じます。  
⑥コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。  
⑦下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、剥離等の生じる原因となります。  
⑧施工にあたっては、同一方法で、入隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎはムラの原因になります。
- ⑨施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化が発生し、壁面に残る場合があります。  
⑩本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。  
⑪希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。  
⑫常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。  
⑬安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。  
⑭一度に厚く塗ると発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。  
⑮塗膜下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。  
⑯フッ素や無機系などの難接着塗料処理されている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。  
⑰可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。  
⑱使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。  
⑲カチオン形塗料ですので、多種塗料との混合はできません。刷毛およびローラーも多種塗料と併用して使用しないで下さい。  
⑳さび缶等はプラスチック容器を使用して下さい。金属類はサビが発生します。
- 【安全衛生上の注意】  
①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。  
②取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。  
③子供の手の届かない所に保管して下さい。  
④作業中・作業後は十分換気を行ってください。  
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。  
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。  
⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。  
⑧中身を使い切った後、容器を十分に洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。  
⑨臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】  
①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。  
②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認ください。  
③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート(SDS)をご確認ください。

2023年4月1日より シーカグループの株式会社ダイフレックスは  
日本シーカ株式会社に統合され、新たに シーカ・ジャパン株式会社  
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは  
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。  
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



( '25.5月現在 ) '25.05.50 SJ